

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	神奈川県・伊勢原市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	伊勢原市歴史文化遺産地域活性化推進計画		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>伊勢原市文化財保護条例（平成25年全部改正）、伊勢原市歴史文化基本構想（平成28年策定）及び伊勢原市教育振興基本計画に位置付ける、歴史・文化遺産を市民に身近なものとし、市民の手で歴史や文化遺産を継承、活用していく取組として、次の事業を実施する。</p> <p>(1) 市内の史跡・文化財ウォークマップ作成事業  (2) 歴史講演会  (3) 史跡めぐり  (4) 「山口家住宅」にかかわる文化財ウォーク  (5) 資料館及び建造物の公開事業  (6) 大山街道ウォーク  (7) 市内文化財調査研究活動展示会  (8) 古文書調査  (9) 伊勢原市文化財等映像記録作成事業</p>			
6 実施体制			
<p>伊勢原市教育委員会が、本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。担当課、役割は下記のとおり。</p> <p>○教育委員会教育総務課：文化遺産等に関すること  また、補助事業は次の団体が実施する。</p> <p>○伊勢原歴史文化遺産活用実行委員会（会長：櫻井 勇）  構成団体：伊勢原市文化財協会、伊勢原郷土史研究会、（NPO）雨岳文庫を活用する会、（一社）伊勢原市観光協会、ISEHARA・おもてなし隊、伊勢原観光ボランティアガイド&amp;ウォーク協会（全6団体）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 22,950 千円	平成29年度申請額： 5,266 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>市民共有の財産である地域の歴史や貴重な文化財の再確認と価値の再認識が進み、郷土への誇りと愛着につながり、今日まで伝承されてきた文化財を核とした地域での自主的な活動が発生し、連帯感の増進と地域の活性化につながる。</p> <p>また、そうした活動を通じて、文化財を後世に継承すべきものとして捉える意識の定着につながるとともに、さらに個々の文化財やその周辺環境と一体的に保護・活用することの必要性が認識・周知され、それらを実践することで、地域の魅力の向上につながり、社会全体として文化財を保護するという気運にもつながる。そのほか、行政と文化財保護・活用団体との連携・協力体制が構築されるとともに、日本遺産を通じた地域活性化計画で目標としている観光客入込数(270万人)に寄与する。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	・各団体による自主財源により、講演会、報告会、ウォーク等を実施予定。		
事業概要：	・市教育委員会による自主事業で、各団体への高齢化をとどめ、新たな人材の供給、団体同士の情報共有・コミュニケーションの向上及び各自の資質向上を目的に歴史解説アドバイザー養成講座を行う。		
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
平成28年1月に伊勢原市歴史文化基本構想を策定。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	伊勢原市教育委員会教育部教育総務課		

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	その他					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	伊勢原市への観光入込み客数			関連事業:	①、②、③、④	
目標値 1 :	平成 28 年度		約190万 人	⇒	平成 33 年度 270万 人	
設定根拠 1 :	文化庁の「日本遺産魅力発信推進事業」補助金と同数にした。 江戸時代、江戸の人口が100万人の時代に、年間20万人(1/5)の人々が当市所在の大山へ参拝に訪れたといわれており、平成27年11月1日現在の東京都の人口1350万人の1/5の人数を目標値とした。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

## 8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	市内の史跡・文化財ウォークマップ作成事業	実施団体：	伊勢原観光ボランティアガイド&ウォーク協会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度			
事業概要：	市内の史跡・文化財ウォークマップ作成事業 市内に所在する文化財を総合的に取り扱うウォークマップを作成する。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	実施団体の自主事業（企画・依頼ガイド、観光ボランティア活動、観光ガイド講座など。特に企画・依頼ガイドは市外からの依頼であることがほとんどであるため、観光客数に直結する）の参加者数					
目標値：	平成 29 年度	5,000 人	⇒	平成 33 年度	6,500 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
事業②：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史講演会</li> <li>・史跡めぐり</li> <li>・「山口家」にかかわる文化財ウォーク</li> <li>・資料館及び建造物公開事業</li> <li>・大山街道ウォーク</li> <li>・展示報告会事業</li> </ul>		実施団体：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢原市文化財協会</li> <li>・伊勢原郷土史研究会</li> <li>・NPO法人雨岳文庫を活用する会</li> <li>・伊勢原市観光協会</li> <li>・ISEHARA・おもてなし隊</li> </ul>		
事業区分：	普及啓発		事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度		
事業概要：	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 歴史講演会（3回） ・内容：地域に根ざした文化遺産をテーマとした歴史講演会を実施する。</li> <li>2 史跡めぐり（2回） ・内容：文化遺産が所在する地域を定め、史跡めぐりを実施する。</li> <li>3 「山口家住宅」にかかわる文化財ウォーク（4回） ・内容：山口家と関係の深い文化遺産が所在する地域を定め、文化財ウォークを実施する。</li> <li>4 資料館及び建造物の公開事業 ・内容：山口家住宅の資料館及び建造物を公開し、来館者に解説をする。</li> <li>5 大山街道ウォーク（4回） ・内容：大山道の道標や文化財等を見ながら、講師の解説を聞き、歴史を学びながら歩く。</li> <li>6 市内文化財調査研究活動展示会 ・内容：市内の文化財・民俗調査の活動成果を展示する。</li> </ol>					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	本市が認定する歴史解説アドバイザーの後年度活動者数の割合					
目標値：	平成 29 年度	30 %	⇒	平成 33 年度	50 %	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
%	%	%	%	%	%	

